

令和2年3月13日

出場団体各位

全日本リコーダー教育研究会
代表代行 親泊 明美

第41回全日本リコーダーコンテスト中止にともなう対応について（詳細）

平素より、当研究会の活動に格別のご理解、ご協力をいただきありがとうございます。さて、既報（令和2年2月29日 本会ホームページ公開および各団体登録のメールアドレスへBcc送信）のとおり、第41回全日本リコーダーコンテスト（以下 コンテスト）は開催中止と決定いたしました。

このたび各出場団体に対し、あらためて前記文書を郵送いたします。出場者をはじめ、関係の皆様方には必要に応じて増刷、配布等いただき、本決定の内容をお知らせいただければ幸いです。

さて、中止決定に関連する各対応について、次の通りお知らせいたします。

記

1 大会パンフレットについて

中止決定前より制作に取りかかっており、3月26日に完成、納品の予定です。納品後は速やかに発送準備を行い、各出場団体宛にお送りします。

2 賞状（参加賞・徳山賞・指導者賞）について

上記1とあわせてお送りします。レプリカ賞状をお申し込みの出場団体も同様にお送りします。

3 録音講評について

希望する団体は、演奏の録音データをお送りいただき、審査員の講評をいただけます。賞は与えられません。あくまで演奏に対する講評のみです。

一演奏に対して講評を担当する審査員は3～5名を予定しております。各出場団体からの審査員指名は受けられません。

演奏の録音データ（形式はmp3）は、令和2年4月17日（金）までに、本会のメールアドレス宛にご送付ください。

zen.rikoken@gmail.com

データ形式や送付方法についてお困りの場合は、上記メールアドレス宛にご相

談ください。

講評結果は、5月末を目途に各出場団体宛にメールでお送りします。

新年度に入ってしまうため、卒業、進学等により、講評を直接読むことが困難なメンバーがいる場合もあるかと存じます。その場合、講評を増し刷りして郵送、もしくはメールに添付して送信することを認めます。ただし、SNSをはじめとするインターネット上に掲載し、各出場団体以外の方が閲覧できる状態にすることは認めません。

4 本会への各種お問合せ、および参加費等について

中止決定後、本会ホームページ上「お問合せ」フォーム、および事務局長へ電話による問合せがございます。その多くは、参加分担金の返金に関するものでした。

各出場団体においては参加要項にあるすべての内容を受諾された上でお申込みいただきました。

参加要項 14 その他 (2)には「納入された参加費等は、いかなる場合にも返金いたしません。」としております。また(3)には「宿泊・交通費その他、コンテストに要する費用は出場団体の負担とします。」とも明記しております。

コンテストの中止措置はこの「いかなる場合」に該当し、それにとまなう交通手段等のキャンセル費用は「コンテストに要する費用」に含まれる、と考えます。

また、中止決定は一連の政府要請を受けての苦渋の判断であり、本会の都合によるものではございません。

さらに、中止とはいえ開催準備段階より経費が発生しており、当然ながら納入された参加費を経費に充てております。以上のことから、納入された参加費等は、いかなる場合にも返金いたしませんことを、ご了承ください。

その他のお問合せに関しては、本会ホームページ内「お問合せ」フォームよりお願いいたします。

5 著作権使用料の支払いについて

中止にとまない、著作権使用料は発生いたしません。また、講評を希望される場合であっても同様です。

6 第42回全日本リコーダーコンテストについて

令和3年3月28日(日) 江戸川区総合文化センターにおいて開催予定です。出場にあたっては当会の下部組織である各地区リコーダー教育研究会(会の名称は地区によって異なる場合あり)が主催する予選大会に出場し、出場推薦を

受ける必要があります。

予選情報は、随時本会ホームページにて発信してまいります。

以上